

ため池の治水活用は

政風会代表
藤原 秀策



町長 県と町で支援する



▲指定貯水施設のソウブチ池

問 ため池治水活用拡大促進の具体的な内容は。
答 洪水による浸水被害の軽減を図るため、事前に水位を下げておく管理者の取り組みに対し、県と町が2分の1ずつ補助する。補助の期間は3年間で、助成額は、ため池一カ所当たり月額3万5千円で、2カ月分7万円を上限とする。県の指定貯水施設に指定することが要件となる。

町長 中央公民館で土日に

ワクチン接種の予定は

問 新型コロナウイルスワクチン接種の時期や人数は。
答 ワクチンの数量や医師の出務状況により、接種人数を決める。コールセンターや特設窓口などで予約を受け付ける。中央公民館で、土曜日と日曜日に実施予定である。

町政 ここを問う

3月9日に4人の議員が会派を代表し、新年度施政方針について町当局の考えをただしました。



代表質問とは、3月定例会において会派を代表する議員が町長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問です。

質問者	質問事項
1 政風会代表 藤原 秀策	(1) 令和3年度施政方針は (2) 土山駅周辺整備は
2 日本共産党代表 松岡 光子	(1) 令和3年度施政方針は (2) 新型コロナウイルス感染症対策は (3) 国民健康保険税の軽減は
3 公明党代表 木村 晴恵	(1) 令和3年度施政方針は (2) 新型コロナウイルスワクチン接種は (3) 新型コロナウイルス等感染症対策の避難所運営を
4 新政会代表 奥田 俊則	(1) 令和3年度施政方針は (2) 播磨町公共施設等総合管理は

問 補助金額は。
答 所得制限などの条件があり、一世帯30万円が上限となる。

町長 夫婦ともに39歳以下

結婚新生活支援の年齢は

問 補助の対象となる夫婦の年齢は。また、再婚の場合も対象になるのか。
答 再婚の場合も対象となる。夫婦とも過去にこの制度に基づく助成を受けておらず、婚姻日において39歳以下であることが要件である。

町長 4カ所に設置

ごみ集積場監視カメラは

問 移动式監視カメラの設置場所は、自治会からの申請によるのか。何カ所に設置するのか。
答 自治会の申請により最大4カ所に設置する。問題が発生している集積所を優先して設置する。



町長 広報やホームページで

投票所再編の周知は

問 投票率向上を図るための投票区再編の周知は。
答 再編後の投票所の場所や共通投票所の併設について、広報やホームページで周知する。チラシも作成し、県知事選挙の選挙公報と共に全戸配布する予定である。

